

図書だより

令和4年4月21日
秋田県立視覚支援学校
図書委員会発行
No.1

入学・進級おめでとうございます！

先週の気温の上昇により、県内各地でも桜の開花が伝えられました。街が賑やかになったように感じます。本校では、8日に入学式が行われ、それぞれが新たなスタートを切りました。改めて、**新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！**



新入生のみなさんはじめ、在校生のみなさんもぜひまた図書室に足を運んで、本との出会いを見つけてください。

◆図書だより1号では、美しい桜の写真と言葉が並べられた写真絵本を紹介します。



「さくらら」 ますいじゅんこ 升井純子 文 こでらたくや 小寺卓矢 写真

この本には、一本の桜が冬の寒さを乗り越えて、開花するまでの移り変わりが描かれています。

その桜が、北海道北部の小さな町、ほろかない幌加内のチシマザクラ（千島桜）です。幌加内は国内最寒気温マイナス41.2度を記録した豪雪地です。（後書きより）

桜の開花はその場所によって違います。そして一つとして同じ形のものはありません。「わたしがさく日はわたしがきめる」この本に登場する小さな桜が残した力強い言葉が、新たな環境で「さあ、いくぞ」という私たちの背中を押ししてくれるような気がします。

「おそくたって これがわたし

ちいさくたって これがわたし」（本文より）

4月も中盤を迎えましたが、今一度立ち止まって深呼吸。ゆっくりじっくり自分の歩みを進めていきたいものです。



本の貸出について

- 貸出冊数・・・1人5冊まで。拡大本・点字本は、分冊になっていても、通常の本5冊分を全て借りることができます。
- 貸出期間・・・2週間。(長期休みは、前日から始業の日まで)
- 返却・・・・・・・・返却手続き後、**返却箱に入れる。**



(1)電子貸出(パソコン使用)の場合

図書室へ行くための階段を上って、すぐの一つ目のドアから入り、右の壁を伝いながら奥に進むと、左手にパソコンの置いてある机があります。電子貸出は、その「専用パソコン」を使って行います。

【借りるとき】

バーコード読み取り器を①自分の図書カードにあて、②次に本のバーコードにあて、いずれもピッと電子音がすれば、完了です。

【返すとき】

図書カードは必要ありません。本のバーコードに読み取り器をあて、電子音がしたら完了です。本は自分で棚にもどさず、パソコンの画面に向かって左隣にある「返却箱」に入れてください。



(2)貸出簿(手書き)の場合

パソコンの画面に向かって右手の方に進むと、作業用の広い机がありますが、さらに右に進むと低い本棚があります。その上に「貸出簿」があります。

【借りるとき】貸出簿に次の内容を記入してください。

- ①貸出日(借りる日) ②本の題名 ③自分の名前
- ④返却予定日(返す予定の日を書く。2週間後の日付でもよい。)

【返すとき】貸出簿に、必ず「実際に返却した日付」を記入してから、本をパソコンの横の「返却箱」に入れてください。

★ 図書に関する事で何かありましたら、職員こまつかずのりの小松和紀、たかはしけいの高橋圭まで、お気軽にお問い合わせください。